

## 目次

	ページ
1. なぜ、品質マネジメントシステムが必要なのか。	2
2. ISO9001 認証マーク	4
3. 当社の ISO9001 取得の取り組み	5
4. ISO9001 に適合することの重要性及び利点	6
5. ISO9001 に適合のための役割と責任	10
6. ISO9001 のための品質活動	12
7. 理解度アンケート	13

## 1. なぜ、品質マネジメントシステムが必要なのか。

品質向上を作業者に依存していると、作業者のミスがそのまま製品の不良につながります。作業者のミスをなくすために、注意をするだけで良いのでしょうか。

### 1) 作業者が作業ミスにより不良品を作っしまい、管理者に報告することにしました。

作業者：「申し訳ありません。私の不注意で不良品を作っしまいました。」

管理者：「次は、もっとよく注意して作業しなさい。」

作業者：「すいませんでした。以後よく気をつけて作業します。」

### 2) 作業者は厳しく注意を受けたので、しばらくは不良品を発生させないでいたが、ある日また作業ミスにより不良品を発生させてしまった。

作業者：「申し訳ありません。また、不注意で不良品を作っしまいました。気をつけていたんですが」

管理者：「この前注意したばかりじゃないか。たるんでるんじゃないのか。」

作業者：「すいませんでした。今度こそ注意してやりますから。」

### 3) 作業者は、再び注意をしながら作業を始めたが、またまた不良品を作っしまいました。

作業者：「また、叱られるな。そうだ。報告したって管理者は怒るだけで何もしてくれないし、この不良品を隠せば、わからないだろう。」

人は、ミスを犯すもので、叱られるだけでは、報告もしなくなり、ある日、大問題になって発覚するのです。

これは、極端な例かもしれませんが、ミスをなくすために作業者を注意するだけでは、ミスはなくなりません。

例えば、作業者の前に、チェック項目を書いた紙を貼り付けて、作業のチェック行うように指導します。これだけで、随分ミスは減るとは思いませんか。